



# 未来へ羽ばたく ～埼玉から日本の未来を創る“源動力”発信～

埼玉県知事 上田 清司

昨年、米国から広がった金融危機は瞬時に世界全体に波及し、实体经济にも深刻な打撃を与えました。我が国も昨年秋口以降景気が急速に冷え込み、大規模な雇用調整が進むなどかつてない厳しい局面を迎えています。

百年に一度と言われる難局を乗り越えるには、ピンチをチャンスととらえる大胆な発想の転換が必要です。

今こそ地方が底力を発揮し、地域の活力を高める優れた政策を打ち出すことによつて、県民の不安を解消していく必要があります。地方が政策を競い、優れた取組みを迅速に実施していくことが、我が国経済を再生する大きな原動力となるはずで

す。私は埼玉での成功例を、日本の未来を創るエネルギーの源「源動力」として、全国に発信してまいります。

## 平成二十一年度の重点施策

県内の経済・雇用情勢は、世界同時不況の影響などから一段と厳しさを増しており、景気対策は最優先の課題となっております。

こうした中、平成二十一年度当初予算編成は、「埼玉県緊急経済対策」として、将来を見据え「県民の生活を守るセーフティネットの充実」と「県内経済の活性化」に最優先に取り組むこととし、さらに、県の五カ年計画である「ゆとりとチャンスの埼玉プラン」の実現に向け、選択と集中の徹底により財源を重点的・効率的に配分することとしました。

## 「県民の生活を守るセーフティネットの充実」

まず、県民生活を守るセーフティネットの充実に取り組みます。周産期医療や救急医療の体制強化、特別養護老人ホームや保育所の整備、医療・福祉を担う人材確保などを進め、県民の不安を解消します。

また、暮らしのあらゆる場面で安心・安全を実感できるように、危機管理や災害対策機能の強化、消費者被害の防止などに取り組みでまいります。

## 「県内経済の活性化」

中小企業支援や雇用対策は、企業や県民のチャンスを拡大する視点で取り組みます。中小企業のニーズを踏まえた資金繰り支援や、若者、女性、障害者など相談者の目線に立ったきめ細かな就労支援、さらに新たな雇用の創出などをスピード感を持って進めてまいります。

これらの取組みに当たっては、小さな投資で大きな経済波及効果を生む「この原理」を生かした施策や、一つの取組みで複数の課題を解決する一石三鳥、四鳥の施策を工夫し、地域の暮らしと経済をしっかりと支えてまいります。

## 「次世代につながる取組み」

さらに、長期の視点で埼玉の魅力を拡大し、活力を高める政策も重要です。

私は、急激な都市化などにより緑や自然空間が失われつつある中、本県の豊かな自然環境を将来に引き継ぐため「みどりと川の再生」を掲げ、森林の保全整備や身近な緑の創出、水辺の再生に積極的に取り組ん

でまいります。

今後もモデル河川の清流復活などの目に見える成果をあげて県民参加に弾みをつけるとともに、太陽光発電の普及促進など地球温暖化対策について精力的に進めてまいります。

また、将来の埼玉の活力を生む未来への投資として、子育て支援や幼少期教育にも力を入れて取り組みます。パパ・ママ応援シヨップの拡大やワークライフバランスの推進など社会全体で子育てを支援する県民運動を展開してまいります。

## 「緊急雇用対策の実施」

本年三月の県内の有効求人倍率は、〇・四七倍と昨年八月以来八ヶ月連続で前の月を下回るなど、県内の雇用情勢はますます厳しくなっています。

このような状況を踏まえて、国の第二次補正予算に対応した雇用関係基金などを活用し、雇用創出効果の高い事業や消費生活相談窓口の機能強化、福祉・介護の人材確保など、県民生活に直結した事業について、平成二十一年度の補正予算を編成し、迅速な対応に努めました。

本県は七十万を超える県民の力、多種多様な企業、充実した交通網に恵まれ、パワフルで多彩な文化・スポーツ活動も盛んです。こうした豊かな資源を生かし、県民が明るく元気になるような政策を実行し、埼玉から日本を変える気概を持って、ゆとりとチャンスに満ちた活力ある埼玉づくりに取り組みでまいります。